



令和7年5月1日

らいかい恵子 議員便り 278号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

5月末に、小・中学校では運動会が開催されます。気温も上昇しますので、体調維持のために規則正しい生活をお願いします。

「こどもまんなか社会」について、今月は教育長の考えを掲載します。

来海は、議員便りを毎月一人で8,000枚配っています。

【令和7年3月議会一般質問から抜粋】



こどもまんなか社会NO.2

教育長の考える「こどもまんなか社会」とは？

来海:先ほど市長も述べられましたが、教育もとても大事だと思います。「こどもまんなか社会」について、教育長の考えを伺います。

教育長:私が「こどもまんなか社会」ということで、どんな認識を持って仕事に取り組んでいるのかを相談したいことがあります。合志市は住みやすいということも多くの方が移り住んで来られていますが、その住みよさは何によって維持できているのでしょうか？



例えば人間関係の希薄さ、人が一杯いるから、あんまり隣近所との付き合いやいろんなことがないよと言われてしているのか。合志市は義理人情に厚くて、人と人との関係が深いから住みよいと言われてしているのか。この2点の一つ、私は集約されているものがあります。

例えば、「こどもまんなか社会」ということでいうと、合併前の旧合志町と旧西合志町は「こどもまんなか社会」だったんじゃないかなと思うんです。いろんなことができていたんじゃないのかなと。私は、それはぜひ取り戻したいなと思います。

何ができていたかという、大人の関係です。大人の関係がちゃんとつながっている。子供を真ん中に置いたときに、例えば家庭の保護者であったり、地域の人たちであったり、

そこで働いている人たち、おじいちゃん、おばあちゃんなんかも全部そうです。その人たちが「こどもまんなか社会」ということで、子どもに関心が向いて見てもらっている。これが「こどもまんなか社会」というのだろうか。

それを具体的な数字で表すものは何かと考えた時に、区に入って区の行事に参加していただいている人の数であったり、子ども会に入って隣近所で一緒に子育てをしていただける方の集団がいき上がっていたり、私は私が住んでいた田舎の地域の小さい頃を考えると、父がいなかったりすると、近所のおじちゃん、おばちゃんたちに、「栄ちゃん」って怒られるわけですね、「しっかりせんね」って。「お母さんは苦労して、あんたば育てよ」と。これは、何か温かみがある社会だなと思うんです。みんながやっぱり子供のことを考えて、そっちを向いて、お互いに自分たちができることをやっている。

何か古いしがらみからいうなら、区役とか何やかんやで行かなければいけないというようなことで面倒くさいというのがあったかもしれませんが、今から先は緩やかなコミュニティが合志市に出来上がってくる必要があるではないでしょうか。みんなが自分にできること、やれることがあったときに、私もお手伝いしましょうと気軽に参加できる。でも自分の仕事やいろんなことがあったときには、ちょっと申し訳ありませんということがいつでも言える。

でも、そんなときに私もそうですが、お人好しでちょっとおせっかいな人たちがたくさんいます。民生児童委員さんや議員のみなさんもそうだと思うんです。自分さえよければ、自分のことだけ考えておけばじゃなくて、みんなのことを考えて、自分にできることがあるならばちょっと大変だけどという人たちが、合志市に増えていかないと、実際に私は「こどもまんなか社会」が実現できないと思います。

市長のほうには、僕もお願いしています。教育予算の獲得という点では、体育館の冷房をお願いします。今年度は、タブレットの交換もお願いします。もっと言うのは、教室が足りませんから絶対、教室をお願いします。こういうのはどんどん言っていきます。

もう一つは、私は生涯学習課、人権啓発課、それから学校教育課などを含めたところで、人間関係にもう少しつながりを深くして行って、例えば学校現場では今、教員不足なんです。臨採の先生は取り合いです。合志市で働いていただいている先生が、いろんな人たちに支えられているのを実感していただいて、合志市でなら教員をしたいと思ってもらえる。初めて教師になった先生が、今年は13人初任で合志市に来られました。その先生たちに聞くんですね、「出会いはありましたか?」。そのときに、地域にこんな方がいらっしや

って、こういう言葉をかけていただきましたと。これは、その先生がひょっとしたら3年たったから移動しますが、また合志市に戻ってきたい。合志市は地域のいろんな人たちとつながっている先生たちで、合志市がどんだんどんだん発展していったって、みんなが子どもを中心として、関心を持って子どもの方を向いているコミュニティが出来上がっていくことが一番大切なことだと捉えています。

大事なのは、やっぱり「こどもまんなか社会」において子ども自身も参加してほしい。お互いを大事にする、「こどもまんなか社会」を大事にしたい。それから、家庭でも、学校教育でも、地域でも、「こどもまんなか社会」に取り組んでほしい。

もう一つ大事なのは、お互いを支え合うことだと思います。例えば私たちでいうなら、教育委員会とこども未来課のほうで、仕事について、この子のことについてとなった時に、いや、それはそっちの仕事だろうと、もしお互いに離れていったら、その子はいつまでたってもきちんとした手だてを打つことができません。私のほうからこんなことをするけん、こっちからこんなことをしようと連携が必要です。

PTAの保護者の集まりで言います。お父さんやお母さんの言うことを聞いて、家族の言うことを聞いて、おじいちゃん、おばあちゃんを大事にしとるねというようなことは学校で言いますと。家庭教育を支えるように学校教育も取り組みますと。だから、もしよかったら家庭でも先生に迷惑かけとらんね、友達とはちゃんと仲よくできてるねとって、ほかの教育の分野をほんのちょっとだけ支援する、支える、その仕組みが「こどもまんなか社会」のあり方だと思い、幾つかのプロジェクトを立ち上げたりして取り組んでいます。

来海:横の連携が大切で、去年一般質問しましたけど、南ヶ丘小学校で真夏に放課後クラブのエアコンが故障し、学校に多目的室を使わせてくれと言えはいいのに連絡しないで、工事完了まで子どもたちは暑い中を過ごしました。横の連携、縦の連携が、教育長や市長がおっしゃった「こどもまんなか社会」じゃないかと思います。

その中で、教育現場では今年度の予算、どこが一番工夫されたのかを伺います。

教育長:先ずは、教室の確保が逼迫しております。次にタブレットの更新時期になるので、円滑に進めなければいけません。体育館の冷房もお願いしています。そしてもう一つ大きのが給食センターの準備と、特別に特別支援教育を進めている上で、どうしても補助の人を増やしたいというようなことで人件費を上乗せしていただいています。

来海:タブレットについては積立てをしていると、一般質問で伺い安心しています。これも一般質問で何度もしていますが、特別支援学級の加配についてはどうなっていますか。

教育審議員:極めて深刻な状況です。

県教育委員会は、言葉としては、35人学級の実現、新学校運営加配という新たな加配の施策を公表していますが、その裏には既存の加配の付替え、それから統合、廃止なども行われ

特別支援教育

特別支援学校

障害のある児童生徒に教育とともに、自立を図るための知識や技能を授ける（自立活動）

【対象】 視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由者など

特別支援学級

障害による学級上又は生活上の困難を克服するために設置される学級
通常学級との交流学級

【対象】 知的障害、肢体不自由、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害など

通級による指導

通常学級に在籍し必要とする児童生徒に特別の指導を行う

【対象】 言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、ADHD など

通常学級 通常学級で発達障害の可能性のある児童生徒は6.5%程度
(平成24年文部科学省の調査、教師による判断)



ており、事実上、加配教員の数は減らされる措置が行われています。


特に、特別支援学級に特化していた学校運営加配、特別支援教育加配という2種類の加配がありましたが、これが廃止されたことは、本市の特別支援教育において大きな痛手となっています。教職員の負担が増加し、結果として、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援やケアが薄くなるという状況です。本市ではこのような厳しい状況を少しでも改善すべく、教育活動指導員や教育介護補助員といった種々の人員を学校に配置しております。これは、他の市町村と比べましても類を見ないほど手厚い、本市独自の事業です。

県教育委員会が特別支援学級の新設・増設を認めなかった学級がありますが、厳しい予算の中で、新たな増員を検討させていただいているところです。

来海:合志市は人口が増え特に子どもの数は県下で一番多いので、人口の割合で発達障害など特別支援を必要とする子どもも多い。以前から支援を必要とする子どもたちを合志市は大事に育てているので、人口の入りと出もすごく激しいです。これからも県教委にしっかり要望していきながら、合志市には県会議員さんが2人いらっしゃいますので県にお願いしていただけたらいかがでしょうか。特別支援学級に入れたい子がいないように、また、学校に必要な生徒がいるのに支援学級を開けないということは問題ですので、ぜひこれからも取り組んでいっていただきたいと強くお願いします。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>

 らいかい恵子

